



# 学校だより

7月号

平成28年7月1日  
横浜市立善部小学校  
校長 小澤 紀子

## 夢

学校長 小澤 紀子

色とりどりの紫陽花の美しさに目をうばわれます。もうすぐ七夕ですが、このところ梅雨空が続き、きれいな星空はなかなか見ることができません。この頃になると、七夕飾りを折り紙で作ったり、短冊に願い事を書いたりした幼い頃の思い出がよみがえります。先日も折り紙で天の川の七夕飾りを作ったところ、思いがけず先生や子どもたちに褒めてもらって、うれしくなりました。～笹の葉さらさら～ 教室から1年生の歌声も聞こえてきます。昨年、地域の方から届けられた笹を校長室前に飾りました。短冊も置いておくと、皆それぞれに願い事を書いていました。「〇〇がほしい。」「〇〇ができますように。」といったお願いには、笑みがこぼれます。「友達と仲良く遊べますように。」にも、にっこり。中には自分のことではなく、「家族が幸せになりますように。」という素敵な言葉があり、胸が温かくなりました。「皆と笑顔をかかわせる幸せ、ありがとう」これは、地域の方の言葉です。心の中の小さな言葉たちが輝いてみえます。そして、「〇〇になれるように」という未来に向かっての希望の言葉もありました。

「子どもたちの将来の夢」というある企業がとったアンケートの記事を読みました。男子の1位はスポーツ選手、女子の1位は保育士でした。私は卒業前の6年生と給食を一緒に食べながらいろいろな話をします。その時に教えてくれる将来の夢は、野球の選手、サッカーの選手、保育士、美容師、幼稚園の先生、教師、プログラマー、会社員、まだ未定。などなど、実にさまざまです。

子どもの頃の夢は、次々と変化していくかもしれませんが、夢に向かって確実に歩いていく皆を応援していきたいです。6月6日から本校の卒業生3名が教育実習を行いました。卒業して10年たって、母校にまた通いました。目の前の夢に向かって歩む人たちはです。その頃とは変わったこと、変わらないことがあると思いますが、子どもたちの輝きは今も前も変わることなく、一緒に遊び、勉強を教えながら、たくさんのことを学んだことと思います。南希望が丘中学校の本校の卒業生が、職業体験でこの善部小に戻ってきてくれることもあります。小学生の頃とは違った目線で学校を見ることになりませんが、「今も善部小は素敵な学校です。」と胸をはって言えるように、私たちも引き続き、努力を重ねていきたいと思っています。子どもたちの小さな言葉も大切にしながら…。

今年も2年生が地域の方と一緒に、南希の森で七夕の活動をいたします。お世話になります。

実習生の感想です。

私は、善部小学校の卒業生であり、再び実習生としてかえってくることができうれしく思っています。養護実習生として保健室での対応を中心に行わせていただきました。毎日たくさんの子どもの笑顔や明るさにパワーをもらい、楽しく実習に励むことができました。4週間で多くのことを学び、この実習の日々は、私にとって一生の宝となりました。本当にありがとうございました。

松山 涼子

2週間教育実習をさせていただきました。実習を通して、大学の授業だけではわからない数多くのことを学ぶことができました。改めて、教師の仕事の難しさとやりがいを感じましたが、何よりも子どもたちのかわいらしさを感ずることができた2週間でした。学ばせていただいたことを胸にこれからも頑張ります。

日置 実花

6月6日から3週間、教育実習をさせていただきました。今回の実習で「先生になりたい。」という気持ちがあります。強くなりました。これからもボランティアとして善部小学校で活動させていただき、まだまだ勉強していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

上木 雅也